

資 料

2012 年 2 月 27 日

日 本 銀 行

1. 金融緩和の強化（2月14日決定）

わが国経済のデフレ脱却と物価安定のもとでの持続的な成長の実現に向けて、日本銀行の政策姿勢をより明確化するとともに、金融緩和を一段と強化することを決定。

（1）「中長期的な物価安定の目途」の導入

- ✓ 中長期的に持続可能な物価の安定と整合的な物価上昇率。
- ✓ 消費者物価の前年比上昇率で「2%以下のプラス」の領域。
- ✓ 当面は「1%」を目途。

（2）緩和姿勢の明確化（時間軸政策）

- ✓ 当面、消費者物価の前年比上昇率「1%」を目指す。
- ✓ それが見通せるようになるまで、実質的なゼロ金利政策と金融資産の買入れ等の措置により、強力に金融緩和を推進。
 - 金融面での不均衡の蓄積を含めたりスク要因を点検し、経済の持続的な成長を確保する観点から、問題が生じていないことが条件。

（3）資産買入等の基金の増額

- ✓ 55兆円程度 → 65兆円程度（10兆円程度増額、対象は長期国債）。
 - 日本銀行は、資産買入等の基金とは別に、年間21.6兆円の長期国債の買入れを実施。基金による買入れと合わせた長期国債の買入れは年率換算で約40兆円。

2. 金融政策運営

資産買入等の基金

➤ 基金の導入・増額

	導入時	11/3月	11/8月	11/10月	12/2月	直近残高
総額	35兆円程度	40	50	55	65	44.5兆円
長期国債	1.5	2.0	4.0	9.0	19.0	4.3
国庫短期証券	2.0	3.0	4.5			2.3
CP等	0.5	2.0	2.1			1.6
社債等	0.5	2.0	2.9			1.8
ETF	0.45	0.9	1.4			0.8
J-REIT	0.05	0.1	0.11			0.07
固定金利オペ	30.0		35.0			33.5
増額完了の目処	11/12月末	12/6月末	12/12月末	12/12月末	12/12月末	

(注) 直近残高は2月20日現在。基金とは別に、年間21.6兆円の長期国債の買入れを実施。

金融市場の安定確保

- 潤沢な資金供給
- ドル資金供給オペレーション、多角的スワップ取極の締結

成長基盤強化の支援

- 貸付残高30,528億円、うちABL等新規分528億円

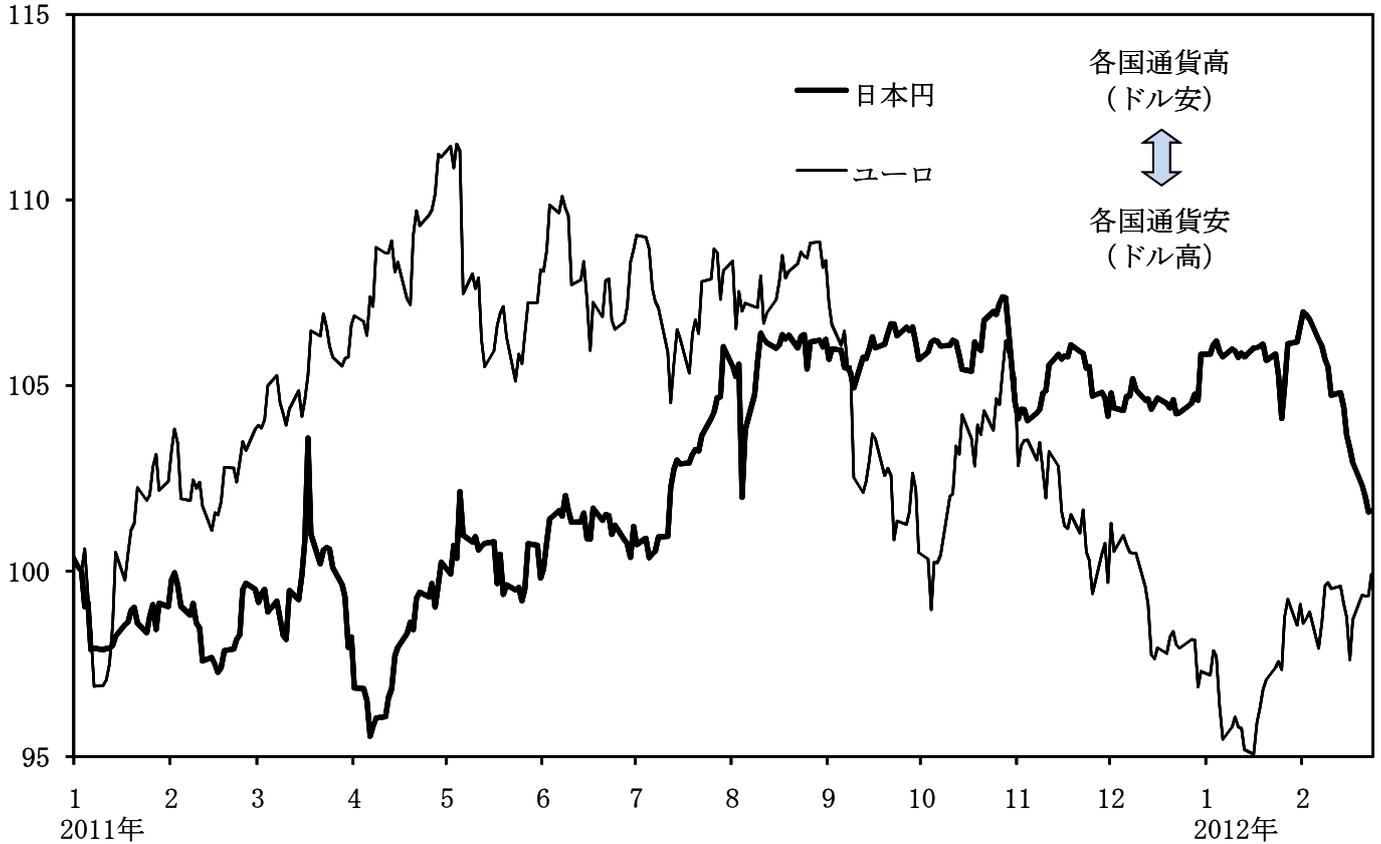
被災地金融機関の支援

- 貸付残高5,061億円

3. 金融市場動向

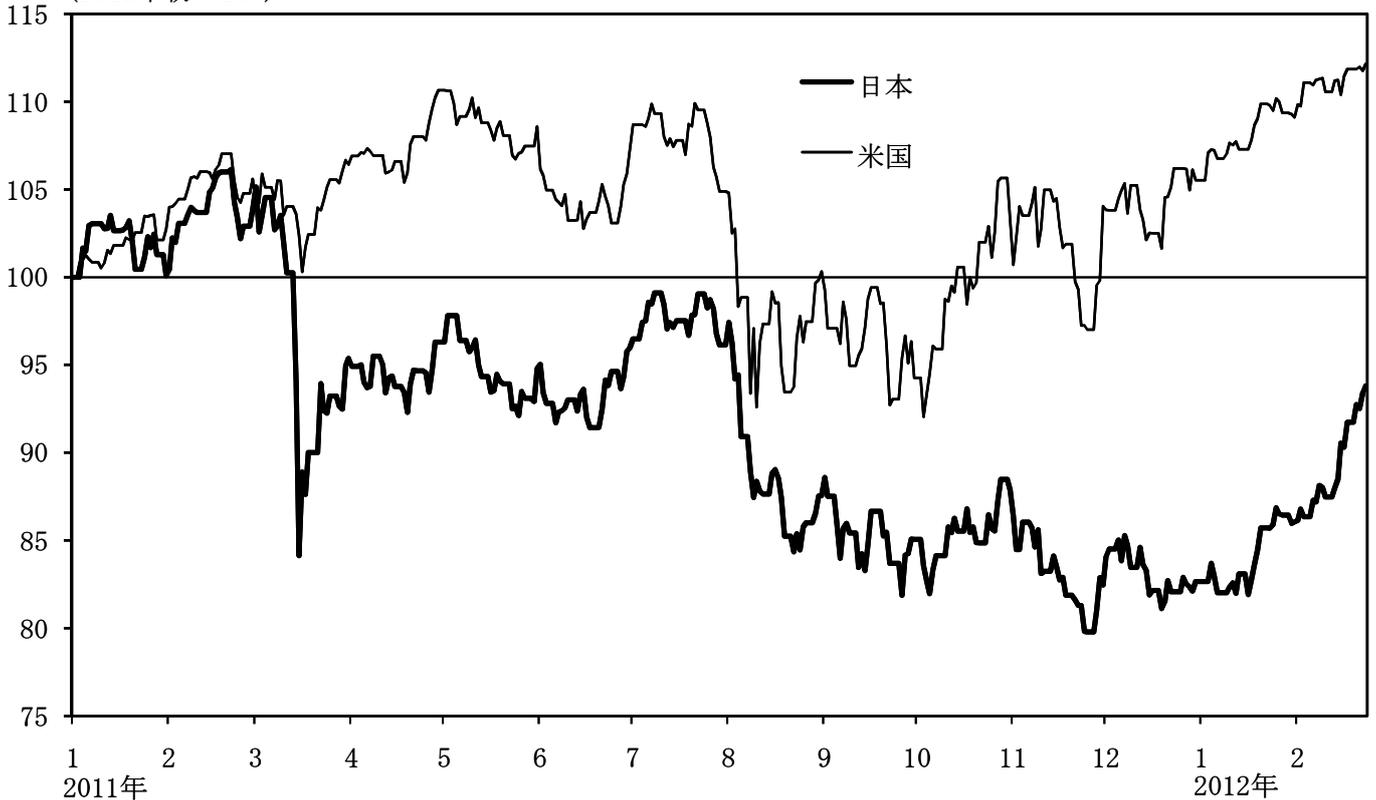
(1) 為替レート (対ドル)

(2011年初=100)



(2) 株価

(2011年初=100)



(注) 日本は日経平均株価、米国はダウ平均。